

動物実験に関する自己点検・評価報告書

和洋女子大学

平成 30 年 3 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 ☐ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「和洋女子大学動物実験等管理規程」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 平成 28 年度に規程の見直しを行った結果、動物実験規程雛形（公私動協版）に倣う形で、平成 29 年 3 月中に規程改正案を作成し、細則を廃止することで、学内承認を得た。
4) 改善の方針、達成予定時期 平成 29 年 4 月 1 日に施行とした。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 ☐ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「和洋女子大学動物実験等管理規程」「和洋女子大学動物実験委員会名簿」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 平成 29 年度より「実験動物等に関して優れた識見を有する者」として外部有識者(獣医師)を構成メンバーに含めた。
4) 改善の方針、達成予定時期

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 ☒ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「和洋女子大学動物実験等管理規程」「動物実験計画書」「動物実験委員会審査報告書」「動物実験計画書審査結果通知書」「動物実験終了報告書」「実験実設置承認申請書」「飼養保管施設設置承認申請書」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 平成 29 年 11 月に実施された公益社団法人日本実験動物学会の外部検証で、飼養保管施設および実験室についての設置申請書、施設等廃止届の様式を定めて、委員会の審査、承認等について対応が必要であるとの指摘があった。
4) 改善の方針、達成予定時期 平成 29 年 12 月に「実験実設置承認申請書」「飼養保管施設設置承認申請書」の様式を定め、現在使用している施設について管理者より委員会に申請、委員会で審議し学長の承認を得られた。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 ☒ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「遺伝子組換え実験安全管理規程」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
4) 改善の方針、達成予定時期 平成 28 年 4 月 1 日に「遺伝子組換え実験安全管理規程」が制定施行されたが、P1 レベルの物理的封じ込めを必要とする実験に限るため、ここでの動物実験には該当しない。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 ☐ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「和洋女子大学動物実験管理規程」「和洋女子大学動物実験マニュアル」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 「和洋女子大学動物実験管理規程」において、動物実験委員会委員長と実験動物管理者は兼任しないこととしているが、実際には兼任の状況が続いている。
4) 改善の方針、達成予定時期 平成 29 年度は委員任期の関係もあり動物実験委員会委員長が実験動物管理者を兼務することとなったが、平成 30 年度より専任とするよう改善する。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

(1) 公私立大学実験動物施設協議会主催の研修会に参加した教員を講師とし、動物実験教育訓練を実施し、本学 HP にて情報公表を行った。
(2) 「動物実験に関する情報公開に関する更なる取組について」に基づき、公表している情報を見直し、委員構成を機関のホームページに掲載した。

Ⅱ. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「和洋女子大学動物実験等管理規程」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たし、適正に機能している。
4) 改善の方針、達成予定時期

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「和洋女子大学動物実験等管理規程」「動物実験計画書」「動物実験委員会審査報告書」「動物実験計画書審査結果通知書」「動物実験終了報告書」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験責任者が立案した動物実験計画を動物実験委員会で審議し、その結果を学長に報告後承認している。また、動物実験責任者は実験終了後に結果を報告している。
4) 改善の方針、達成予定時期

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☒ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
4) 改善の方針、達成予定時期

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「和洋女子大学動物実験マニュアル」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 平成 28 年 4 月に「和洋女子大学動物実験マニュアル」を改正した。飼養保管について管理記録を残すよう明記し、適正に実施している。
4) 改善の方針、達成予定時期 外部検証において指摘された飼育室ごとに温度、湿度を測定し記録を残す点について、平成 30 年度より温湿度計を設置し対応する

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 平成 27 年 3 月に実施した外部検証にて指摘された、適切な備品の整備について改善した。 具体的には、すのこ、ねずみ返しを設置、錆びのついていない棚の買い替えを行った。 落下細菌検査や消毒を毎年行っている。
4) 改善の方針、達成予定時期

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「和洋女子大学動物実験等管理規程」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 機関内規程に動物実験責任者及び動物実験実施者は教育訓練を受けなければならないと定めている。 公私立大学実験動物施設協議会主催の教育訓練を受講した教員を講師とし、動物実験に関わる学内の教職員対象に教育訓練を実施した。学生を対象とした教育訓練も授業内で実施した。
4) 改善の方針、達成予定時期

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「和洋女子大学動物実験等管理規程」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 基本指針に準じた自己点検・評価を行い、機関のホームページ上で情報公開を実施している。 委員構成についてもホームページ上で公開している。
4) 改善の方針、達成予定時期

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

(1) 平成 29 年度動物実験の実施における自己点検・調査に関する報告書集計 別紙 表 1
(2) 平成 29 年度動物実験実施結果 別紙 表 2

【別紙】

表 1 平成 28 年度動物実験の実施における自己点検・調査に関する報告書集計

部局名	動物実験計画書の審査		動物実験従事者 及び飼養者数	飼養保管施設 の設置状況	飼養保管施設 から独立した 実験室
実施学類	許可件数	不許可 取り下げ数			
健康栄養学類	3	0	6 + 学生 1 3 3	3	1
合計	3	0	6 + 学生 1 3 3	3	1

表 2 平成 28 年度動物実験実施結果

所属	動物種	飼養数
健康栄養学類	ラット	1 1 9
	マウス	3 8
合 計	ラット	1 1 9
	マウス	3 8